



柏市地域活性化総合特区 「地域の健康・介護」に関する取組

～特区訪問リハビリテーション事業所と地域の拠点病院等の連携について～

特区訪問リハビリテーション事業所設置の目的

- 柏市では全国平均より診療所数が少なく、その結果、指定訪問リハビリテーションを提供する事業所が少ない。
- 一方、要支援・要介護高齢者は、今後10年で1.5倍以上に増加すると見込まれており、状態維持・改善に資するサービスが必要とされる。
- こうした現状を踏まえ、運動、口腔、栄養に係るケアを一体的に提供できるトータルヘルスケアステーションの創設に向けて、地元の医師と連携をしながら訪問リハビリテーションを提供できる特区事業所が設置されている。

地域における課題

- 例えば、がん術後のケースでは入院期間が短く、リハビリ効果が出る時期への早期介入が困難。
- そして、精神面の落ち込み等により自己管理が困難になり、再入院される方がいる。
- その他、退院後の在宅生活の適応が難しくADLが低下、市外からの退院によりその後のフォローが滞るなどの課題も挙げられている。

平成30年度における取組

- 病院との連携により、サービス提供とその評価を実施。
- 評価の方向性は、利用者の身体面に止まらず、精神面についても実施することを検討。

取組イメージ

